

【民法】

〔総則〕

- ① 建物地下の賃借人（店舗経営）設置の外壁上の看板の撤去請求と権利の濫用……………笠井 修 6
 （最一小判平二五・四・九）

- ② 公序良俗違反により無効な抵当権設定契約と競落人の所有権取得の可否……………古積健三郎 10
 （東京高判平二五・五・二二）

〔物権〕

- ③ 担保不動産競売の買受人に対する未登記通行地役権の主張の可否……………岡本詔治 14
 （最一小判平二五・二・二六）

〔債権〕

- ④ 過払金返還請求と七〇四条前段の利息の処理方法……………中村 肇 18
 （最一小判平二五・四・一一）

- ⑤ 主たる債務を相続した保証人による保証債務の弁済と主たる債務の消滅時効との関係……………草野元己 22
 （最一小判平二五・九・一三）

- ⑥ 信託契約による債権譲受人に対する貸金債務者の過払金返還請求の可否……………鎌野邦樹 26
 （大阪高判平二五・七・一九）

- ⑦ 仮換地の買主への賦課金の賦課と土地の瑕疵該当性……………山本 豊 30
 （最一小判平二五・三・二二）

- ⑧ 借入れと弁済が繰り返され過払金が生じている状況下での新たな借入れにおける「元本」の額……………平野裕之 34
 （最一小判平二五・七・二八）

- ⑨ 建築協力金等償還金と賃料とを相殺する合意の新賃貸人に対する効力……………遠藤研一郎 38
 （仙台高判平二五・二・一三）

- ⑩ 抗がん剤イレッサ添付文書の記載方法……………吉村良一 42
 ——イレッサ薬害訴訟上告審判決……………
 （最一小判平二五・四・一一）

- ⑪ パロマガス湯沸器による一酸化炭素中毒事故と製造・販売業者の不法行為責任……………後藤巻則 46
 （東京地判平二四・一一・二一）

- ⑫ 児童の起こした自転車事故と母親の監督義務者責任……………松本克美 50
 （神戸地判平二五・七・四）

〔親族・相続〕

- ⑬ 実父母の同意なき特別養子縁組申立ての可否……………前田 泰 54
 （東京高決平二五・五・二七）

- ⑭ 性同一性障害により性別変更をした夫婦の間でのAI D出生子と特別養子縁組……………棚村政行 58
 （神戸家審平二四・三・二）

- ⑮ 任意後見契約法一〇条一項に定める「本人の利益のために特に必要があると認めるとき」に該当するとされたる事例……………星野 茂 62
 （大阪高決平二四・九・六）

- ⑯ 婚外子相続分差別違憲決定とその効力……………潮見佳男 66
 （最大決平二五・九・四）

- ⑰ うつ病・認知症に罹患した高齢男性を遺言者とする公正証書遺言の効力……………浦野由紀子 70
 （東京高判平二五・三・六）

【商事法】

〔会社法〕

- ① 取締役会設置会社の取締役の会計帳簿等閲覧請求権の存否……………野田 博 74
(東京地判平二・三・一〇・一八)
- ② 融通手形の振出と取締役の対第三者責任……………川島いづみ 78
(東京地判平二・三・一〇・二六)
- ③ 準共有株式の準共有者による議決権行使方法……………柴田和史 82
(東京高判平二・四・一・二八)
- ④ 事業譲渡の譲受会社による譲渡会社の債務の重畳的債務引受が認められた事例……………松井智予 86
(札幌地判平二・四・一・二八)
- ⑤ MBOにおける取締役の公正価値移転義務と株主に対

する責任……………森本 滋 90
(東京高判平二・五・四・一七)

⑥ 基準日後取得株主による全部取得条項付種類株式の取得価格決定の申立て……………加藤貴仁 94
(東京地決平二・五・九・二七)

〔保険法〕

⑦ 企業総合保険契約に基づく利益喪失保険金額の算定……………山下典孝 98

⑧ 火災事故が共済契約者の故意によるものと認められた事例……………山野嘉朗 102
(福岡高判平二・四・二・二四)

【民事手続法】

- ① 債権管理会社の任意的訴訟担当の可否……………上田竹志 106
(東京地判平二・五・一・二八)
- ② 行政事件訴訟法二二条により訴訟参加することのできる第三者が民事訴訟法上の補助参加をした場合の取扱い……………間瀬清史 110
(仙台高判平二・五・一・二四)
- ③ 本案訴訟では書証とされる文書で、文書提出義務が認められないものについて、証拠保全として検証による証拠調べを行う場合における検証物提示命令発令の許否(消極)等……………草鹿晋一 114
(大阪高決平二・五・四・五)
- ④ 将来の介護費用の損害賠償について、一時金賠償方式

よりも定期金による支払が相当であるとした一審判決の判断が是認された事例……………越山和広 118
(東京高判平二・五・三・一四)

⑤ 新株発行の無効の訴えに係る請求を認容する確定判決の効力を受ける第三者と再審の訴え……………岡田幸宏 122
(最一小決平二・五・一・二一)

⑥ 子との面会交流を許さなければならぬと命ずる審判に基づく間接強制が認められた事例……………大濱しのぶ 126
(最一小決平二・五・三・二八)

⑦ 仮執行宣言付判決に対する上訴に伴い金銭を供託する方法により担保を立てさせて強制執行の停止がされた後に債務者につき更生手続がなされた場合における、

供託金還付請求権の処遇……………松下祐記 130
(最二小決平二五・四・二六)

【国際私法】

① ① 会社法四二九条一項及び不法行為責任に基づく損害賠償請求の訴えにつき、義務履行地に基づく国際裁判管轄の適用を否定した事例……………北坂尚洋 134
(東京地判平二四・八・二七)

② 不法行為の客観的事実関係の証明がないとして、我が国の国際裁判管轄を否定した事例……………高杉直 138
(東京地判平二五・二・一九)

③ ソブリン・サムライ債の発行国に対し債権管理会社が管理委託契約上の授権条項に基づき提起した個別債権者の利息等の支払請求訴訟について任意的訴訟担当を許さなかった事例……………渡辺惺之 142
(東京地判平二五・一・二八)

私法判例リマークス49 (2014 <下>) 裁判所別・年月日順索引 148
 文献略語表 149
 判例の符号 150